



第23回 函館市核兵器廃絶平和推進事業「平和大使派遣事業」



本市においては、「核兵器廃絶平和都市推進事業」の一環として、市内中学生を被爆地である長崎市へ派遣する「平和大使派遣事業」を平成6年度から実施しています。平成28年度においても、市内中学生4名を派遣し、平和祈念式典への参列や青少年ピースフォーラムへの参加を行っております。

主 催：函館市総務課

問合せ先：(メール) soushomu@city.hakodate.hokkaido.jp

(電 話) 0138-21-3646



青少年ピースフォーラムへ参加しました！ (ピースフォーラムを除く主な活動)

平和祈念式典への参列に際して

- ・函館市内の中学校や市民の方から預かった折り鶴を平和祈念公園へ供え、「被爆71周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」へ参列しました。



参加の様子



帰函してからの活動

①報告会

- ・それぞれの中学校において、長崎市への派遣を通じて感じたこと、思ったことなどを生徒の前で発表しました。



平和祈念式典会場の様子

②平和教育公開授業への参加

- ・長崎市より大学生を講師として招へいし、目や耳を使った授業を行い、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さなどを学び、感じ取ったことについて感想文を書きました。

【参考URL】http://www.nucfreejapan.com/koshihaken/hakodate_shi.htm

【公開授業を受講しての感想】

- ・「まず知ることから始めよう」と話したときは、僕の心がとても揺らぎました。僕も将来お二人のように「昔、こんな恐ろしいことがあったんだよ」と明るく未来をつくるために語れるようになりたいです。
- ・この世界から戦争をなくすには、武力ではなく、きちんと話し合っ和解決することが大切だと思いました。そして、二度と核兵器を作らないということも重要だと思えます。
- ・具体的な核兵器の数であったり、実施に15,000個以上の音であったり自分の体で体験してみて、他人のことでなく、本当におそろしいものだということが分かりました。



自分たちなりの解決策をハトに託します

【ピースフォーラムの意見交換で出た意見】

(平和のために身近に出来ることは)

- ・お互いの意見を理解しあい、尊重することが大切だと思う。そうできる人でありたい！！
- ・思いやりの気持ちをもつこと。
- ・考えながら、口に出す前に言葉を確認して話す。



完成したピースアート



平和教育公開授業の様子